

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 市川市立稲越小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒272-0831
千葉県市川市稲越町518-2
 E-mail : work4-inagoshi@ichikawa-school.ed.jp
 Website : www.inagoshi-syo.ichikawa-school.ed.jp/
 児童生徒数：男子 84 名 女子 79 名 合計 163 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（自己有用感の確立・地域との交流）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 異年齢縦割り活動(通称『ぼかぼかグループ活動』)

全校児童が163名(2月末現在)、各学年単学級の本校では、1年生から6年生までを縦割りで18の異年齢集団グループに分けている。縦割り活動は人間づくりの活動であり、6年間「学級編成」がない本校にとって、毎年春の縦割りグループの発表は、子供たちの心ときめくものがある。

さらに、1年間同じグループではなく、前期と後期でメンバーを入れ替える。今度は誰と一緒にのグループになるのかという期待と新鮮さが子供たちの活動を一押ししている。

常時活動として、毎日の清掃、週1回のぼかぼかタイムがある。また、チームとしての結束力やリーダーシップを養うため、前期に全校歩き遠足と創作ダンスの発表(運動会の種目の1つ)、後期に全校バス遠足と創作劇発表「ひばりまつり」を行なっている。その他、地域・保護者・併設の支援学校小学部とともに、年2回行うぼかぼか清掃となかよし給食、その後行う小学部との合同ダンス。ぼかぼか水泳大会、支援学校小学部との打ち水大作戦、地域安全確認大作戦、お別れ集会、お別れ給食。そして入学式と卒業式。学校生活における主要な行事等は縦割り活動で行っている。

この活動は、6年生の「リーダーシップ」を養うとともに、5年生以下はグループのメンバーの一員としての「メンバーシップ」を養う活動でもある。グループへの「所属感」、個人としての「存在感」、活動を成就したときの「成就感」の3つの『感』を目指し、豊かな人間関係づくりをすることがねらいである。

2. 創作劇発表会「ひばりまつり」

年間通しての「ぼかぼかグループ活動」の集大成と位置づけているのが「ひばりまつり」である。

ひばりまつりでは、縦割りの18グループを6つのチームに編成し、それぞれのチームが15分以内で演劇発表をする。

演劇発表は、「選書→脚本作成→読み合わせ→練習→発表」という手順で行う。6年生は何回も本を読み込み、6冊を選択する。15分という制限時間の中に収めるため、劇化する場面を選び、パソコンで脚本を作成し、担当職員の指導を受けながら脚本が完成する。

完成した脚本をチームごとに読み合わせ、配役を決め、練習に入る。全体で11時間という短い練習時間で行うため、リーダーシップとチームの協力が必要になる。6つの劇の幕間には図書委員会の児童が劇に関連したクイズを出し、ひばりまつり全体を引き締める役割を果たしている。

劇の終了後子供たちはチームごとに振り返り活動を行い、お世話になった6年生へのお礼の手紙を書き、「ひばりまつり」は終了となる。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）